

教 科	科 目	対象学年学科	単位数	教科書	使用教材
芸術	音楽Ⅰ	1年 普通科 1年 国際科 1年 農業環境科 1年 福祉科	2 単位	ON! (音楽之友社)	Music Note (啓隆社)

到達目標	・歌唱・器楽・鑑賞などの幅広い活動を通して、音楽を愛好する心を身に付けるとともに、感性を豊かにし、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。 ・互いの個性を理解し、認め合うことで、より幅の広い視野や価値観を身につける
------	---

評価の観点	知識・技術	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について、理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
	思考・判断表現	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

学習の評価	①筆記テスト、実技テストによる評価 ②プリントや感想等の提出内容による評価 ③授業時の取り組み、様子、出席状況による評価 ★①～③を総合的に評価する。
-------	--

単元	学習内容	学習到達目標
	「オリエンテーション」 ・音楽Ⅰの授業の進め方について	・授業の進め方を理解することができる。
歌唱	「歌を歌おう」	・楽曲の良さを感じ取り、無理のない発声で、歌うことができる。
	「様々な言語で歌おうⅠ」	・イタリア語の歌曲に触れ、のびやかな発声を身につけることができる。
	「様々な言語で歌おうⅡ」	・英語の楽曲の良さを感じ取り、発音に気をつけて、無理のない発声で、のびやかに歌うことができる。 ・ドイツ語の発音に慣れ、発音に気をつけて、のびやかにドイツ歌曲を原語で歌うことができる。
	「楽譜の読み方」 「リズムうち」	・基礎的な楽譜の読み方を身につけることができる。 ・習得した知識を元に、簡単なリズム打ちができる。

楽典 器楽 創作	「和音」 「伴奏付け」 「創作」	・和音について、基礎的な内容を理解できる ・和音について理解した知識を元に簡単な旋律の伴奏付けをすることができる。 ・これまで習得した知識を元に、簡単な旋律の作曲をすることができる。 ・自作の曲に、和音付けをすることができる。
器楽	「箏に親しもうも う」	・箏の基礎的な奏法を理解できる。 ・平易な曲を練習し、演奏することができる。
鑑賞 音楽 史	「いろいろな曲を鑑 賞しよう」 「西洋音楽史、日本 音楽史」 「近代～現代音楽」	・様々な曲に興味を持って、その曲の良さを感じ取り主体的に鑑賞することができる。 ・鑑賞をとおして、それぞれの時代の音楽的な特徴や歴史的背景を理解することができる。 ・様々な時代の音楽史について知り、その特徴を理解することができる。
歌唱 器楽 鑑賞	「ミニコンサート」	・個人またはグループで、演奏する曲を決め、主体的に友達と協力しながら、練習に取り組むことができる。 ・人前で発表することを意識し、表現を工夫することができる。 ・友達の演奏を聴き、演奏の良さを感じとりながら、鑑賞できる